

郷中だより

令和元年 10月2日
倉敷市立郷内中学校長発行
学校だより 第 14 号

備南東地区新人体育大会 ソフトテニス

備南東地区のソフトテニスの新人戦が9月28日(土)から福田公園で行われました。前日まで雨天を心配していましたが、当日は晴れて日差しも強く、時折強く吹く風の中で、選手の皆さん、よく頑張りました。保護者の皆さんの応援もありがとうございました。3年生が引退し新メンバーでの大会でしたが、練習とは違う雰囲気の中で、思うように力が出せなかった悔しさや、ナイスプレーができて嬉しかったことなどを次の大会に生かしていきましょう。



ある朝のできごと

9月下旬の朝7時40分ごろ、校長室にいつもの部活動の元気な声に混じって、校歌が聞こえてきました。声の主をたどっていくと、体育館前で女子バレー部、3階廊下で吹奏楽部が歌っていたのでした。1階と3階で同時にお腹の底から声を出して歌っていたので、聞いていて気持ちよく、朝から元気をもらいました。ありがとう！



そのあと少しして、登校してくる生徒たちと、正門で朝のあいさつをしたり、短い会話をしたりしながら、癒しの時間を過ごしていました。

その中で、ある生徒が、「体育会の練習もクラスで協力するのに時間がかかったから、合唱練習もたいへんかも。でもなんとかなる!」と言いながら笑顔で去って行きました。

2学期は学校行事や部活動の大会など、勉強以外にたくさんのおこなうべきことをしなければならないので、休日も含めて時間配分がたいへんだと思います。しかし、この生徒の言葉から、次のような心の声を読み取れました。「①体育会の練習に時間をかけてクラスで取り組んだ！ ②協力するために頑張った！ ③合唱も協力するぞ！ ④このクラスのみんなとなら、きっと成功する！」これこそが、まさしく学校行事の目的であり醍醐味ではないでしょうか。

行事そのものを行うことが目的ではなく、話し合い、練習、準備の段階で、対立はあるかもしれませんが、「どうやったら、全員が楽しく盛り上がるかな」と知恵を出し合いながら最後まであきらめず考え、練習していく。その中で、友だちの別の一面が見えたり、「自分とは違う意見だけど、そんな考え方もあるんだな」と認め合ったりできるようになる。その試行錯誤こそが大切で、価値があることです。行事を通じて、そんな柔軟な心を養ってほしいと思います。

10日後の合唱コンクールに向けて、どのクラスからも「歌いたい」という思いがあふれだし、自然発生的に歌声が聞こえてくるといいですね。